

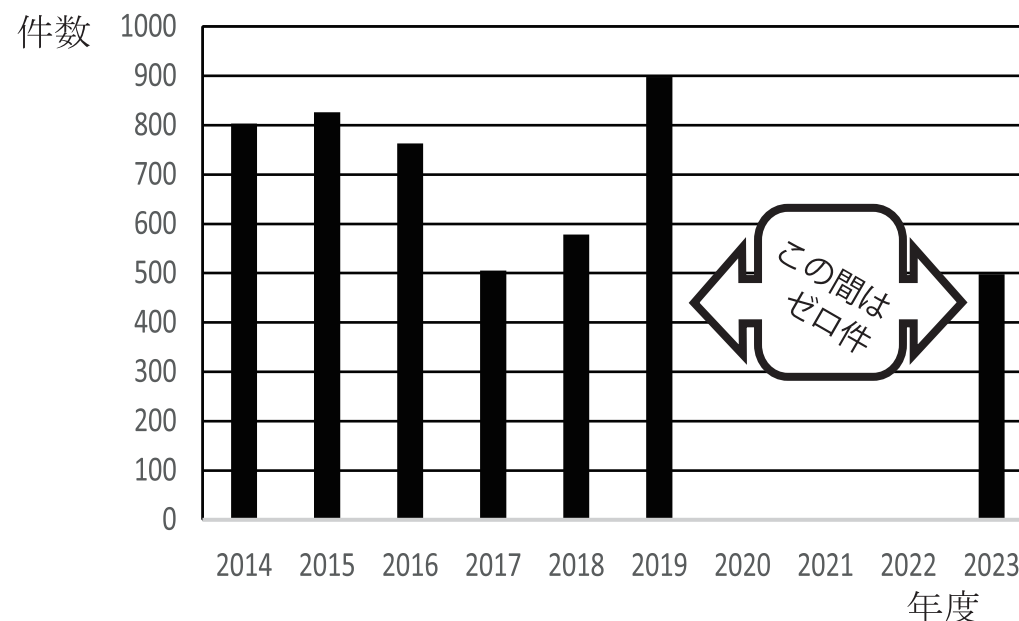
9月議会の準備のため各種調査を

9月議会の準備を始めています。9月議会には市長選挙前の最後の議会です。蝦名市政の問題点を厳しく追及し、市政の転換を求める議会にしたいと思っています。

この間の私の調査で分かったいくつかのことをご紹介します。



給水停止件数の推移



給水停止が昨年から復活!?

水道料金を滞納すると、釧路市は水道栓を閉めて、水道が使えなくなってしまう。様々な理由がありますが、人が住んでいる住宅の水道を止めたら、生死に直結する事態になりかねません。

新型コロナウイルスもあって、2020年度から3年間は給水停止の処分は行ってきませんでした。だが、昨年度から復活。五〇〇件近い停水

処分にしました。大問題です。

道路の街灯の間引き!!

道路が暗いと感じるようになったのは、私の年のせいばかりではないようです。



実は「市道」には8700灯の街路灯が設置をされています。しかし、そのうち609灯が点灯しておらず(間引き)、401灯は時間を制限して消灯してしまっています。つまり、1000灯以上、11.6パーセントがつかっていないのです。

もともと、余計な街灯までつけているとは思いません。市は、「財政が大変だ」と言っている。街灯の間引きを始めたが、財政が好転して、100億円も自由に使える財政調整基金と減債基金がたまったのに、街灯の間引きはやめません。

町内会が管理している防犯灯もずいぶん減ってきています。高齢化や加入世帯の減少、役員の成り手不足が原因ですが、市の支援も十分とは言えません。なんとかならないのでしょうか。



2024.8.25

村上かずしげ通信

発行 日本共産党市議団
0154-23-5212